

卒後
16年目

服部 早苗 医師

HATTORI SANAE

茨城県筑西保健所(2024年11月現在)

臨床での経験がきっかけで、公衆衛生の道に興味を持ちました。転職の際には悩みましたが、自分の視野が広がりとでも良い経験ができています。皆さんもご縁を大事にし、いろいろなことにチャレンジしてみてください。

私は2008年に筑波大学を卒業し、初期研修後、東京医科歯科大学(現:東京科学大学)の産婦人科教室に入局しました。卒後3年目に結婚し、卒後6年目の産婦人科専門医を受験する年に第1子を出産しました。専門医も取得でき、子育てもゆっくりしたいなという考えもありましたが、先輩女性医師から「自分のキャリアも大事だよ!」というアドバイスを受け、病院勤務を続けました。その後、第2子、第3子と出産しました。育児休暇としては半年から1年程度取得しましたが、育児休暇の間も勤務先の病院の院内保育を利用しながら、産後3か月頃から週2日程度、外来のお手伝いをしていたので、完全に仕事から離れるという期間は短かったのかなと思います。

公衆衛生に進んだきっかけは、第3子出産後の育児休暇中に読んだ新聞の記事でした。茨城県の保健所医師が不足しているという記事が目にとまりました。もともと公衆衛生に興味があったわけではありませんが、外来でも要支援妊婦が増えているという実感があり、出産後は地域でどのように支援されているのか心配になる症例が増え、行政について興味を持ち始めていたところでした。県の公衆衛生医師確保の取り組みとして、週1回保健所で勤務できる医師を募集しているとの記載があり、行政を知る機会という好奇心で、育児明けの2018年から週1回の保健所勤務を開始しました。そこで出会った保健所長が女性医師で、自身の経験も踏まえ公衆衛生で働く魅力についてお話を聞くことができました。いつか公衆衛生医師として働くのも選択肢のひとつかなと思うようになりました。

公衆衛生分野についてもっと勉強したいと思い、2020年4月に社会人大学院生として大学院に入学しました。ちょうど新型コロナウイルス感染症が流行し始めた時期でした。6月に研究室の教授から突然、行政医が足りないから県で働いてみないかと打診がありました。大学院も始まったばかりで、病院勤務も続けており、すぐに臨床を離れることは考えていなかったのですが、「これも何かのご縁!」ということで、えいや!と9月に県に入庁することにしました。最初に配属されたのは県庁のコ



ロナ対策チームでした。慣れない行政の仕組みに最初は戸惑いましたが、チームメンバーに支えられ、臨床での経験も役に立ち、行政の立場から臨床現場を支援するという経験をすることができました。本当に大変でしたが、広域的にアプローチするという行政の醍醐味を感じることができました。もちろんこの時期には家族や友人、安心できる子供の保育園や学童保育などの協力・支援があったからこそで、自分一人ではとても乗り越えられませんでした。

医師という職業は臨床だけでなくいろいろな分野で活躍することができると思います。それぞれに自分の強みをのびし、自分らしく仕事をしていきたいと思っています。私も今は、家庭と仕事の両立に追われ、なかなか思うようにできないジレンマはありますが、所長見習いという立場で日々勉強しつつ仕事をしています。臨床の時よりも多職種の方々と交流することが増え、とても刺激になっています。また研修が充実しており、働きながら学ぶ機会がたくさんあるのも楽しいです。大学と連携した社会医学系専門医制度のプログラムもあり、社会医学系専門医も取得することができました。県職員の制度では時差出勤や時間休があり、学校行事や習い事の送迎の時にも利用しています。また子どもの体調不良時は看護休暇やテレワークを活用して仕事ができるのもメリットです。

皆さんもこれから出産・育児のみならず、家族の看護・介護や自分自身の体調など、どうしても仕事に対してブランクが出てしまう時期があると思います。周りと比べてしまい落ち込むこともあるかもしれませんが、そこをマイナスに考えるのではなく、仕事以外の世界が広がり、新たな視点を持つことができるようになるチャンスでもあります。そして是非、興味をもったことには、タイミングをみてチャレンジしてください。また悩んだときは何事も自分一人では抱え込まず、周りに協力を求めてください。時には頼る勇気も必要です。私もたくさんの人たちに支えられ、導かれながらやってきました。とても感謝しています。

皆さんの活躍がさらに後輩への力になると思います。期待しています!

ある日のスケジュール

- 5:30 起床
- 7:00 子どもを起こす
- 7:20 自宅出発
- 8:30 登庁
- 17:30 退庁
- 18:30 学童保育のお迎え、習い事の送迎
- 19:00 帰宅→夕食準備、夕食、片付け
- 20:00 入浴、子供の宿題・翌日の準備チェック
- 21:00 寝かしつけ(一緒に寝てしまうことも…)
- 21:30-23:00 残った家事をこなしながらフリータイム
- 23:00 就寝

ワークライフヒストリー

